

事務事業名	放課後児童健全育成事業				担当	健康福祉部 児童家庭課 児童家庭係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				電話番号	0285-83-8131		
施策名	2	子育て支援の充実				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	放課後児童健全育成事業実施要綱・真岡市留守家庭児童会館の設置及び管理に関する条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和53 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	2 児童福祉費	1 児童福祉総費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	小学校1年生から3年生までの児童で、放課後家庭で保育できない児童を、児童厚生施設等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全育成を図るため、真岡市留守家庭児童会及び学校法人幼稚園等に委託して実施している。 [補助率] 国庫補助金対象施設：国2/3・市1/3								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 留守家庭児童会及び学童保育を行っている民間施設等17箇所のうち、13箇所で真岡市放課後児童健全育成事業業務委託契約により学童保育を実施 23年度計画 同上国庫対象13ヶ所	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(見込)
	ア 留守家庭児童会、学童保育を行っている民間施設等	箇所	12	14	17	17	17
	イ 委託料	千円	23191	31051	38567	44057	48116
	ウ						
	エ						
	オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 留守家庭児童会及び学童保育を行っている民間施設等	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(見込)
	ア 留守家庭児童会、学童保育を実施の全施設	箇所	12	14	17	17	17
	イ 利用児童数	人	527	543	575	656	687
	ウ						
	エ						
	オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 学童保育受託施設を支援し、心身ともに健全育成をはかる。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(見込)
	ア 学童保育を実施の施設で助成を受けている全施設	箇所	8	10	14	13	13
	イ 利用児童数	人	428	496	554	612	634
	ウ						
	エ						
	オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 子育て環境が整備され子育てと仕事の両立を図ることができる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(見込)
	ア 主に小学校1年生～3年生までの心身共に	%	13.0	10.9	11.6	13.3	13.9
	イ 健全な育成をはかっている割合						
	ウ (利用者数÷小学校児童生徒数)						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移				単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	10,896	17,834	12,246	0	0
			県支出金	千円	930	465	12,247	28,132	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	11,365	12,752	16,472	17,359	0
			事業費計 (A)	千円	23,191	31,051	40,965	45,491	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	314	314	314	314	0
			人件費計 (B)	千円	1,315	1,312	1,274	1,340	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	24,506	32,363	42,239	46,831	0

③この事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・ 共働き、核家族化の進展により放課後家庭で保育できない児童が増加し、保護者の要望により自主運営することで始めた。 ・ 昭和53年真小、真岡西小留守家庭児童会で開始し、昭和55年真岡東小を開設する。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・ 平成8年から民間施設でも開始した。 ・ 国では文部科学省との連携により「放課後子どもプラン」を創設した。 ・ 厚生労働省雇用均等児童家庭局長通知により、平成20年4月1日から開設日数が250日以上、開設時間が1日平均3時間以上（長期休暇期間は原則8時間以上）及び長時間開設加算や障害児受入推進費の導入等により該当する事業主に改善を求めた。 ・ 核家族の進展、共働き家庭が増大したこと等により、放課後家庭で保育できない児童数は増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・ 住民から学区ごとに実施希望あり。 ・ 保育園経営の事業主から、放課後児童クラブ増設の要望が出ている。

2. 1 次評価の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 児童の健全育成は市政発展長期計画に位置づけられており、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 児童の健全育成を達成するため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 学童保育を必要としている児童を対象としているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 該当する施設全てに補助しているので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 児童の健全育成を目的としているため、廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 他に類似の事業がない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 国、県の基準で実施しているので、削減の余地がない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小の人件費で実施しているため削減の余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内の施設をすべて対象としているので、公平公正である。利用施設に応じ、利用料の負担がある。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								